

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型芳泉（クラス3：らいふアップ芳泉）		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～ 令和 6 年 11 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～ 令和 6 年 11 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 11 月 30 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活スキルの向上を目的としたプログラム（ビジョントレーニング、サーキット、作業、手指練習等）を1ヶ月単位で繰り返し行うことで、定着へとつなげています	①子どもが自ら行えるように、食事や排泄、衣類の着脱など、健康的な生活を送るための支援 ②遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養う支援 ③数、大小、色、形等の基本概念の習得 ④季節の変化への興味などの感性形成のための外出活動 ⑤意志の伝達、言葉の習得や発語の促し、思いを伝える支援 ⑥手順や役割ルールなど社会生活に必要な発達支援	職員の資質の向上を行うために、今以上に計画的に研修の機会を確保していきます
2	法人内の児童発達支援事業所に通所していた子ども達の中には、就園後に弊事業所を利用される子どももいます	相談支援専門員や児童発達支援事業所の支援者と連携を取りながら、見学、体験を経て入学後にご利用できるように連携を取っています	来年度は普段の活動で、児童発達支援の子ども達と弊事業所の子ども達や支援者との交流の場を設け、お互いを知る機会とし、子ども達が安心できる場をつくっていきます
3	毎週木曜日に、理学療法士による機能訓練を、保護者の要望に沿って実施しています	・理学療法士による専門的個別支援として、日常生活の中で姿勢保持や安定、運動の獲得や筋力強化、大人との1対1のコミュニケーションの楽しさなどを体験し、落ち着いて生活できるようなアドバイスをいただいています	理学療法士に、普段の運動プログラムについてのアドバイスをいただき、子ども達の成長を促していきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブと交流する機会が設けられておりません	放課後児童クラブへ移行対象の子どもは、弊事業所を利用していないため、必要性を感じられなかったことも要因としてあげられます	地域の子ともと交流することで、コミュニケーションの輪が広がることを期待して、個々に応じて交流のきっかけづくりをしていきます
2	茶話会を開催するための案内を配布できていなかったため、保護者同士の連携が支援できていません	学校のPTAなどを通して既に保護者同士つながっている方、仕事で参加が難しい方、子育て中の方等、様々な要因が考えられます	年度が替わるタイミングで、新しい保護者の方もおみえになるので、アンケートを実施し希望をお聞きしていきます
3	月1回臨床心理士の保護者相談会を実施し、希望者にはペアレントトレーニングを行っているものの、一部に過ぎない現状がある。保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行うことが求められると感じています	ペアレントトレーニングに関する知識や技術習得の機会が事業所として得られていないことが要因として考えられます	来年度はペアレントトレーニングの研修年間計画を立て、事業所として取り組んでいきたいです